※令和４年度以降入学生用

学校番号	3001

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「言語文化」　（大修館書店）						
副教材等	新版　チャレンジ常用漢字　（第一学習社出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために古文漢文の基本事項（歴史的仮名遣い、文語文法、訓点、訓読）をしっかりと身に付けてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	現代に生きる漢文を理解し、漢文のきまりを身に付ける ［教材］論語・孟子 訓読のきまり①返り点の種類と用法 訓読のきまり②再読文字の種類と用法 訓読のきまり③主な助字の種類と用法	a：・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・漢文の世界に親しむために，漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，漢文特有の表現などについて理解している。 ・解釈するために作品や文章の成立した歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 b[読]：・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を理解して、内容を解釈している。 ・作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 b[書]：・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・古典や現代の日本に与えた影響を他の作品などを読み比べたり、比較して評論する。 b[話/聞]：・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c：・言語文化の担い手としてａやｂを主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。 ・漢文の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に活かそうとする。	・小試験 ・定期試験 ・学習プリントの取組	・授業プリント ・定期試験	・振り返りシート ・感想プリント ・ノート記述 ・授業中態度
	故事成語の内容を理解し、漢文のきまりを深く使いこなす ［教材］臥薪嘗胆(十八史略)	a：・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・漢文の世界に親しむために，漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，漢文特有の表現などについて理解している。 ・解釈するために作品や文章の成立した歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 b[読]：・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を理解して、内容を解釈している。 ・作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 b[書]：・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。	・小試験 ・定期試験 ・学習プリントの取組	・授業プリント ・定期試験	・振り返りシート ・感想プリント ・ノート記述 ・授業中態度

※令和４年度以降入学生用

	・古典や現代の日本に与えた影響を他の作品などを読み比べたり、比較して評論する。 b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c: ・言語文化の担い手としてａやｂを主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。 ・漢文の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に活かそうとする。			
滑稽話の内容を理解し、古典のきまりを身に付ける ［教材］宇治拾遺物語　児のそら寝	a:・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる :・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して評論する。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c: ・言語文化の担い手としてａやｂの学習活動を主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。 ・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。	・小試験 ・定期試験 ・学習プリントの取組	・授業プリント ・定期試験	・振り返りシート ・感想プリント ・ノート記述 ・授業中態度
日本文化の伝統を理解し、古典とのつながりを意識する。 ［教材］徒然草　をりふしの移り変はるこそ	a:・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる :・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して評論する。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。	・小試験 ・定期試験 ・学習プリントの取組	・授業プリント ・定期試験	・振り返りシート ・感想プリント ・ノート記述 ・授業中態度

※令和４年度以降入学生用

		b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c: ・言語文化の担い手としてａやｂの学習活動を主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。 ・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。			
2	妖怪話の内容に親しみ、現在とのつながりを意識し、古典のきまりを身に付ける ［教材］伊勢物語　芥川	a:・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる :・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して評論する。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c: ・言語文化の担い手としてａやｂの学習活動を主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。 ・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。	・小試験 ・定期試験 ・学習プリントの取組	・授業プリント ・定期試験	・振り返りシート ・感想プリント ・ノート記述 ・授業中態度
	恋愛話から当時の恋愛事情を理解し、古典のきまりを身に付ける ［教材］伊勢物語　筒井筒	a:・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる :・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して評論する。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c: ・言語文化の担い手としてａやｂの学習活動を主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。	・小試験 ・定期試験 ・学習プリントの取組	・授業プリント ・定期試験	・振り返りシート ・感想プリント ・ノート記述 ・授業中態度

※令和４年度以降入学生用

		・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。			
	旅の意識を理解し、古典に親しむ。 ［教材］土佐日記　門出	a:・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる :・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して評論する。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c:　・言語文化の担い手としてａやｂの学習活動を主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。 ・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。	・小試験 ・定期試験 ・学習プリントの取組	・授業プリント ・定期試験	・振り返りシート ・感想プリント ・ノート記述 ・授業中態度
	栄枯盛衰のわびしさを理解し。古典の作品に親しむ ［教材］おくの細道　平泉	a:・古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景・文学史などを理解している。 ・古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:・作品の内容や形式について、古典の言葉の意味やきまりを踏まえて理解している。 b[書]・作品に親しみ、丁寧な字で規定された時間、分量の書写ができる :・作品の内容や形式について批評したり討論したりしている。 ・異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して評論する。 ・登場人物の言動や話の展開から多様な価値観を読み取ろうとしている。 b[話/聞]:・他者の考え、助言、価値観を踏まえて、自らの批評や評論を発展させている。 c:　・言語文化の担い手としてａやｂの学習活動を主体的に取り組もうとし、その学びを自己調整し、発展させている。 ・古文と現代のさまざまな文化や考え方との繋がりや教訓を理解しようとしている。	・小試験 ・定期試験 ・学習プリントの取組	・授業プリント ・定期試験	・振り返りシート ・感想プリント ・ノート記述 ・授業中態度
3	現代に生きる古典作品を理解し、古典への親しみを深める	a:・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。	・小試験	・授業プリ	・振り返り

※令和４年度以降入学生用

	［教材］羅生門 『今昔物語集』巻第二九第一八	・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：・言葉がもつ価値への認識を深め，言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・定期試験 ・学習プリントの取組	ント ・定期試験	シート ・感想プリント ・ノート記述 ・授業中態度

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　１０　）時間

・書くこと　…　（　　１０　）時間

・読むこと　…　（　　５０　）時間